



川の国応援団通信



共助による綾瀬川再生 流域会議(第1回)開催!



平成25年9月10日(火)午後2時から埼玉会館7A会議室において、綾瀬川流域で川の再生活動に取り組んでいる団体や自治会の方、流域市町等に参加していただき、共助による綾瀬川再生流域会議(第1回)を開催しました。

綾瀬川は昭和30年代までは泳げるようなきれいな川でしたが、昭和40年代頃から生活雑排水、工場排水の流入による汚濁が進み、悪臭や浮遊ゴミが発生したり、BODが3ケタに届きそうな時期もありました。

その後、流域住民や団体、関係機関等の尽力により大幅に水質は改善され、綾瀬川流域で川に親しむイベントも多く開催されるようになりましたが、近年も国土交通省の直轄管理区間におけるBODウースト5河川の常連となっています。

そこで、川の再生に取り組む団体や流域住民の皆さんが連携して綾瀬川の再生に取り組むため、この会議を設立しました。

第1回の会議では、自己紹介の後、「昔に比べるとBODも改善されてきているので、今後はソフト面での対策を行っていくことが重要」、「みんなで生活排水対策に取り組んだ方がいいと思う」、「機会を提供してもらえれば浄化槽の講習会を行いたい」など、活発に意見を出していただきました。

今年度中にさらに会議を開催し、来年度に綾瀬川流域で取組む内容について決めていく予定です。

綾瀬川流域で活動されている団体、又は綾瀬川の再生に協力していただける団体で会議に御参加いただける団体がありましたら、ぜひ県水環境課までご連絡ください。



水生生物講座を開催

平成25年7月13日(土)、川に生息する水生生物に関する知識を習得するため、寄居町の埼玉県立川の博物館(かわはく)を会場に、水生生物講座を開催しました。

今年は、平年よりも早い梅雨明けで、猛暑が心配されましたが、幸いにも雲りがちな天気、屋外の活動には問題なく、事前申込みされた14名の参加がありました。

講師は、かわはくの藤田学芸員と石井学芸員のお二人にお願いしました。

水生生物調査をするにあたっての注意事項の説明を受けた後、かわせみ河原に移動しました。川に入って、河底の石を裏返したりして水生生物を採取し、観察用の容器に移しました。

そして、それぞれの生き物の特徴や生態について、講師から説明を受けました。

採取した生物は、カワゲラ、ヒラタカゲロウなど十数種類で、荒川のかわせみ河原付近は、水質階級「きれいな水」と評価されました。受講者からは、見たことのない生物を確認できた、生息する生物から水質を評価できることを知ったなどの感想が聞かれました。

最後に、五感による河川指標の評価も行いました。

川に入って、夢中になっている受講者の皆さんの笑顔が印象的でした。これからの皆さんの活動が楽しみです。



会員のひろば

活動報告



～528団体が県内各地で活動中！～

今年の夏は、県内31会場
で「川ガキ体験イベント」が開
催されました。今回は、開催
した2団体からの報告です。

「川遊びに歓声、川ガキら

146名が参加

【笹目川の環境を守る会

渡部郷】

7月20日(土)笹目川の親水工
リア(美女木地区)で夏休み恒例の
「川遊び・魚採り」を行いました。

川遊び・魚採りを通じて子ども
達や保護者が自然とふれあい、身
近な水辺に親しむことによって、
水辺環境の保全の大切さについて
学ぶことを目的に平成18年から
毎年実施している行事です。

戸田の川を考える会、笹目川を
きれいにする会との3団体共催
の川ガキ養成事業です。

笹目川は市街地の生活排水や雨
水、灌漑用水を排水するいわゆる
どぶ川でしたが、上流部の1.2km
にわたって、平成3～11年度に
多自然川づくりの改修工事が行わ

れ、親水性の護岸や河床の整備が
行われました。また平成17年には
荒川から浄化用水の導水が実現し、
きれいな川を取り戻したいという
市民団体などの長年の要望が実り
ました。

当日は絶好の川遊び日和に恵ま
れ、146人の親子(子供81人、大人
65人)が参加してくれました。

前日仕掛けた3張りの袋網を
引き上げ、採れた魚を水槽に入れ
ると、川ガキたちは2つの大きな
水槽回りにすずなりになって、魚
にさわったり、手網ですくったり
して観察しました。

笹目川の
流量は0.3
0.5 m³/sで
多くはあり
ませんが生
息している
生きものは
多く、今回
もいろいろ
な魚が観察
できました。



今年はウナギは見つかりません
でしたが、体長30cmにも及ぶ巨大
なタイワンドジョウがかかっ
てみんなびっくりしていました。
投網の実演や水に入っている川遊
びに大きな歓声があがりました。
終わりに川の好感度チェックシ

ートで笹目川の河川環境について
評価しました。

このような身近な水辺に親しむ
行事を通じて、少しでも子ども達
の川への関心を高めることを期待
しています。

「第9回」都幾川で川遊び

inときがわ町

【もりんど

山本 悦男】

8月3日(土)に、ときがわ町内の
都幾川で川遊びイベントを開催し
ました。

受付を終えた子ども達は、ライ
フジャケットを身につけ、タモ網
を持って準備万端。若干の注意事
項を伝えてから、早瀬やワンドの
ある上流の浅瀬まで移動し、川の
生きものを探します。狙い目は、
水際の草付きや石の下。タモ網や
サデ網を川底に押し付け、ガサガ
サと水中の生き物を追い込みます。
毎年、子どもも大人も(いいえ大
人の方が?)夢中になります。
参加者の皆さんは、中々の腕前で、
ギバチ、カジカ、シマドジョウ、サ
ワガニ等々、続々と成果が集まっ
てきます。

1時間程楽しんだから、水分補
給などの休憩。後半は、下流の蛇
行部の淵に移動し、泳ぎや素潜り
など思い思いの遊びで過ごします。
希望者は、カヌーやカヤックに乗

り込み水上散策も。三艇用意した
カヌーも順番待ちの盛況でした。

子ども達
が水遊びを
楽しんでいる
間も、一
部のスタッ
フは、みん
なで採集し
た生きもの
を水槽に整
理し、ミニ



水族館の準備に大わらわです。準
備が整い、ミニ水族館の前に全員
集合し、都幾川で捕れたいろいろ
な生きものを観察しました。

埼玉県の川ガキ体験イベント情
報や、新聞等で紹介して頂いたこ
ともあり、遠方からの家族参加も
多くありました。そんな親御さん
からの『自身に川遊びの経験が無
く、どのような場所でのように
遊んだら良いかが解らないので、
川遊び企画で安全に川遊びができ
る環境が有難い』との声が印象に
残りました。

カヌー体験や素潜り等では、子
どもの見守りを保護者の方々にも
ご協力頂き、安全でにぎやかな川
遊びを満喫する事ができました。
楽しい川遊びを通して、川の自然
や生態系、人と自然のつながりを
感じていただけたら幸いです。

川の国アドバイザー
制度の紹介



今回は、環境学習を実施した川の国アドバイザーのお二人と、川の国アドバイザー制度を利用した1団体の感想を紹介します。

「埼玉県環境科学国際センターの夏休み特別企画講座」

小原 邦彦

私は、昨年度、川の国アドバイザーの登録を受けました。早速、県水環境課からの紹介で、県環境科学国際センターの講座「川の生き物で環境調査をしよう」のお手伝いを7月20日(土)に行いました。講座は小学4年生から6年生の学童とその保護者が対象でした。

川の環境や生活にどのように利用されているかなどが分かるビデオ鑑賞のあと、2種類の水の水質簡易検査、川の中の生きもの調べなど盛り沢山の内容でした。受講者の皆さんは真剣に取り組み、色々な質問も飛び出すなどとてもすばらしい講座でした。私が担当した内容は、受講者の各テーブルをまわり、水質検査用の試薬の扱い方、水の中の生きものの分類、その数、記録表への記入方法など

を教えること
でした。

このような
作業は日頃行
っていること
なので、迷わ
ず行えました。
2時間という
短い時間でし
たので、どこ
まで理解して頂いたか不安です。
できれば、試験水の採集や川の中
の生きものの採集など、実際の現
場に出向くところからお手伝い
できればと思いました。



「川の国アドバイザーとして
環境学習を実施」

【川の国アドバイザー】

茂木 幸蔵

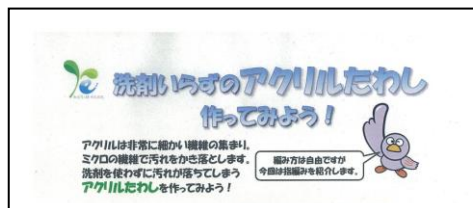
川の国アドバイザーの派遣要請を受けまして、35度を超える昼過ぎに深谷市の埼玉りそな銀行に向かいました。

8月9日(金)、「りそなキッズマネーアカデミー」小学5、6年生対象25名の「環境」の講義を行いました。

2階会議室で、午前中はお金や銀行のことを勉強、午後は私の出版で、「水の大循環」の図を使って水の大切さを話しました。その中で、身近な生活と結びついている

川の汚れが問題になってきていること、家庭からの雑排水が川を汚すことから、選択・食器洗い風呂水など、なるべく汚れを少なくすることが大事と話しました。

そのあと、油污れを落とすため「アクリルたわし」をアクリル毛糸から手編みで一人ひとりで作ってみました。



初めてなので、みんな夢中で取り組んでいました。うまくできた子は三分の一くらいでした。でも、うまくできない子にも「家に帰ってからお母さんと一緒に作ってみてください。」と話して終了しました。

地元行田市では、河川をもっときれいにし、緑・樹木を増やすことを市民大学同窓生の環境グループを中心に進めています。今後は、まちづくりとしても活動の場を拡げていくように頑張っています。

「川の国アドバイザーの話聞く」

【彩の国環境大学修了生の会】

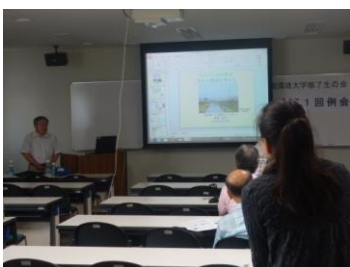
小林 光春

彩の国環境大学修了生の会は、毎年2回の例会を外部講師による講演や会員による活動等の報告や

意見交換を実施してありますが、今年度の第1回の例会を7月27日(土)朝霞市リサイクルセンターにおいて、会員だけでなく県民一般にも呼び掛けて行いました。

今回は、環境関係の3つのテーマのうち、1テーマを川の国アドバイザー制度を利用し篠原吉則先生に「みどり」と川の再生 川から環境を考える』の環境講座を行っていただきました。今回、制度を利用したのは、修了生の会員が地元埼玉の地域環境を考える上で、河川水質の重要性や実態及び周辺の自然の価値を認識する必要があると考え、経験・情報等豊富な川の国アドバイザーである篠原先生に協力をいただきました。

篠原先生の講演は、埼玉の河川の現状と取組が紹介され、特に、化学物質規制及び生物物質を用いた新たな工場排水管理手法(WET)評価による排水毒削減の取組は興味深く、また、河川の汚れの70%の要因は生活排水であることも改めて考えるよい機会となりました。質疑も活発でとてもよい例会となりました。



川の再生交流会の

お知らせ！

県内全域を対象とした川の再生交流会を開催します。普段の活動の事例発表や、初心者向けからベテラン向けまで幅広いテーマを設定した7分科会を行います。川の再生活動のレベルアップを目指す人、活動の輪を広げたい人、どなたでも参加大歓迎です。

日時 平成26年1月13日(月)

場所 さいたま市民会館うらわ

(浦和駅徒歩7分)

申込 申込書を水環境課に提出

(申込書はホームページに掲載予定です)

内容

《10:00～12:00(ホール)》

・開会

・児童による活動事例発表

・川の国応援団美化活動団体表彰

・川の国応援団代表者による宣言

・川の再生活動団体による事例等の発表

《13:00～15:00(各会議室)》

第1分科会 始めの一步

第2分科会 アユがすむ川づくり

第3分科会 水質改善・排水対策・浄化槽

第4分科会 都市排水路の川づくり

第5分科会 多自然の川づくり

第6分科会 にぎわいの川づくり

第7分科会 環境学習

《15:20 各分科会代表者発表(ホール)》

《16:00 閉会》

同時開催！

親子向けイベント

「集まれ！みらいの「川の国応援団」水族館がやってくる」を同日10時～14時30分、さいたま市民会館うらわにて川の再生交流会と同時開催します。親子で楽しめるイベントですので、ご家族やお知り合いの方にもぜひお声掛けください！
参加費無料、事前申込不要です。

内容

○さいたま水族館がやってくる！

移動水族館

〈水族館〉

ムサシトミヨ、ムジナモなど

埼玉のめずらしい魚や生物の展示

〈タッチングコーナー〉

カメラやドクターフィッシュに

さわれます

○魚や水辺の生き物を作ろう！折り紙水族館

「折り紙夢工房」の皆さんによる折り紙教室

講師の方が作成

した作品も展示

されます

○君も埼玉の川

博士！川の国

埼玉検定入門編

パネルを見ながら

川に関する問題に答えよう！

※コバトンも登場

する予定です！

さいたま市民会館うらわ案内図



川の国埼玉検定

入門編を実施しました

川の国埼玉検定(入門編)を平成25年8月31日(土)、「さいたまエコフェスタ Summer 2013」で実施しました。

会場の埼玉会館小ホールのロビーには、各団体の活動報告や体験コーナーが設けられ、特別講演と合わせ、熱気あふれたイベントでした。

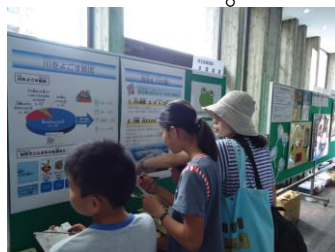
水環境課のブースでは、生活排水対策などのパネルを展示し、パネルをヒントに問題を解いていただきました。

検定には、110人がチャレンジし、全員が5問中4問以上正解して、合格しました。

合格した方には、認定証・コバトンシールなどを差し上げました。

ブースでは、家でのちょっとした工夫について話しあっている親子の姿が印象的でした。

でした。



発行 埼玉県環境部水環境課

〒330-9301

さいたま市浦和区高砂3-15-1

(第3庁舎1階)

TEL:048-830-3088

FAX:048-830-4773

E-mail:a3070-03@pref.saitama.lg.jp

☆活動予定や活動報告などをお寄せください。

☆資材の提供や貸出し等のご希望があればご相談ください。

☆連絡先等の変更があればご連絡ください。

川の国応援団のHP

<http://www.pref.saitama.lg.jp/site/kawanokuniouendan/>

